



エコスタSDGs シンポジウム

実施報告書



2022年2月15日

事業概要

1. イベント名

『エコスタSDGsシンポジウム』

2. 目的

飯塚市において、令和4年4月より計画期間が開始される「第3次飯塚市環境基本計画」では、SDGsの理念に基づいた目標設定を行い、市民・環境団体・事業所・学校・行政が連携して取組を進め、環境の保全を推進します。この計画の効果的な推進のためには、市民等がよりSDGsに対する理解を深めることが必要不可欠であるため、本イベントを開催し、SDGsに関する周知・啓発を行うものです。

3. 構成

主 催 飯塚市

協 力

【基調講演 講師】

一般社団法人サステナブルコミュニティ 共創機構代表理事 横山 泰治 様

【司会進行】

いいつか人材育成グループ『ユリシス』

【手話通訳】

飯塚市手話の会

4. 開催当日

日 時 令和4年1月23日(日) 12:00～15:30

会 場 飯塚市文化会館 イイツカコスモスコモン 大ホール

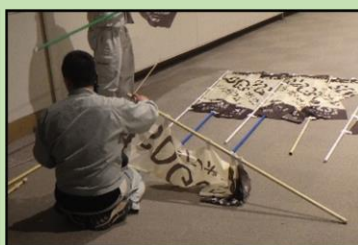
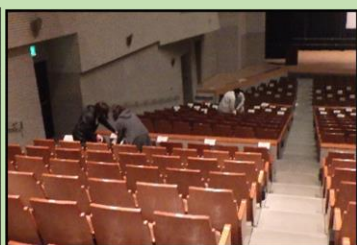
来場者数 122人(関係者含む)



5. プログラム

時間	進行	内容
12:00～ 13:30	環境保全活動紹介	市民や事業所、環境団体による環境保全活動を紹介するほか、『花王国際こども環境絵画コンテスト入賞作品展示会』を開催 【大ホール内】 ・動画上映による環境保全活動紹介 【大ホールホワイエ】 ・パネル展示による環境保全活動紹介 ・花王国際こども環境絵画コンテスト入賞作品展示会
13:30～ 13:50	開会式	開会式 開会のことば(飯塚市 市民環境部 永岡部長) 主催者挨拶(飯塚市 久世副市長)
13:50～ 14:00	休憩	
14:00～ 15:00	基調講演	基調講演～あなたとSDGs～ 【講師】 一般社団法人 サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事 横山 泰治 様
15:00～ 15:10	飯塚第二中学校の 発表	発表～私の考える国際都市～ 【発表者】 飯塚第二中学校 2年生 八波 桃香 様 飯塚第二中学校 2年生 鈴木 ひな 様
15:10～ 15:30	閉会式	閉会式 閉会のことば(飯塚市 市民環境部 環境整備課 福田 課長)

会場風景



前日準備



大ホール観客席

大ホール舞台

大ホールホワイエ

実施内容

1. 環境保全活動発表(12:00~13:30)

学校や事業所、団体から応募いただいた、日ごろから取り組んでいる環境保全活動について、大ホール内スクリーンでの動画上映、大ホールホワイエでのパネル展示を行い、飯塚市で行われている環境保全活動について、広く発表しました。

動画上映(5団体)

飯塚市立飯塚小学校 「飯塚小の環境保全活動」

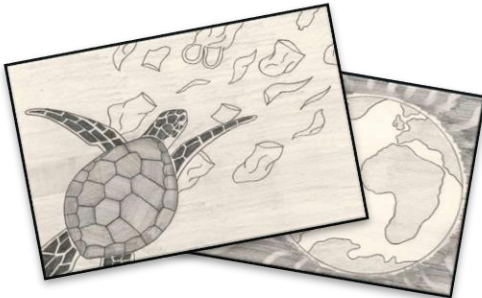


飯塚市立八木山小学校

「山を愛し、地域の方々と緑を守る八木山っ子！」



飯塚市立穂波東中学校 「アニメでわかるSDGs」

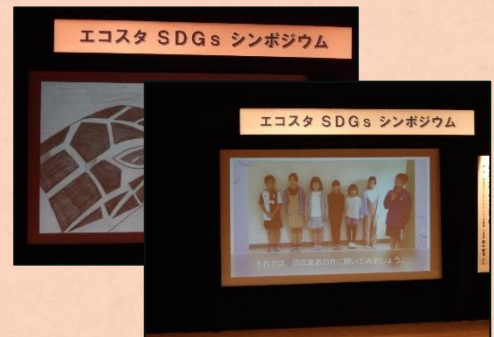


飯塚市立穂波西中学校

「変えよう！私たちの未来
～学年チャレンジ『SDGs』の取組を通して～」



飯塚市立飯塚第二中学校 「届けよう！“服のカ”プロジェクト」



動画上映会場の様子

パネル展示(6団体)

飯塚市立片島小学校
「わたしたちの遠賀川」



エコープ生活協同組合
「エコープの環境活動」



飯塚市立鯉田小学校
「NAMAZUTA SDGs」



飯塚市立飯塚東小学校
「東小キッズ
～なるほど、なっとく、ごみ減量プラン～」



一般財団法人 福岡県浄化槽協会
「浄化槽を通じた水環境保全」



ガールスカウト福岡県第35団
「マイボトルを持っていこう!!」



2. 花王国際こども環境絵画コンテスト入賞作品展示会

「世界の子どもたちが描く地球・環境・未来」というテーマで、環境について、子どもならではの視点で描かれた「花王国際こども環境絵画コンテスト」の入賞作品を展示し、子どもから大人まで、一緒に環境について考え、エコにつながる行動のきっかけづくりを図りました。



観覧する来場者



上空から見た展示会場



展示会の絵

大ホールホワイエの展示スペースのようす



3. 開会式(13:30~13:50)

開会の言葉

開会の言葉を、飯塚市 市民環境部長 永岡より申し上げます。



主催者挨拶

主催者を代表して、飯塚市副市長 久世 賢治がご挨拶を申し上げます。



開会式会場 大ホール内のようす



いづか人材育成グループ『ユリス』の学生による司会進行



開会式前に、司会進行と手話通訳に協力していただく方々の自己紹介を行いました。



開会式前に、『氏名』、『連絡先』、『座席番号』を記入してのアンケート用紙の提出を呼びかけ、感染症対策を徹底しました。



感染症対策として間隔を空けて着席をお願いするため、使用不可の座席にはSDGsの17のゴールを模した、色とりどりの不織布をかけています。



開場前の市職員と『ユリス』学生との打ち合わせの様子



開催前日の大ホール内の設営を行う市職員

4. 基調講演 (14:00~15:00)

講師

一般財団法人サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事
パラダイムシフトコミュニケーション®トレーナー
官民共創・SDGsコーチ

横山 泰治 様

SDGsの達成を、多様な世代や環境の一般市民、一般社会人からのボトムアップでの実現することをミッションに活動中。SDGsに関する講演、講座は、北は北海道から南は沖縄まで、分野も一部上場企業から商店会、小学生から高齢者まで、地方の数人単位から数百人規模まで幅広く行い、年間約180回の登壇。SDGs研修は10,000名以上に実施。



開催当日においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート(オンライン)でご講演いただきました。

基調講演 ~あなたとSDGs~



今回のシンポジウムは、令和4年度から新たに策定する第3次飯塚市環境基本計画の効果的な推進のために、市民の皆さまにSDGsについてより理解してもらうことを目的として開催されました。

基調講演では、『あなたとSDGs』という題目で、SDGsについて詳しくない方々にも分かりやすく、SDGs誕生の経緯や17のゴールについて、私たちがより身近に感じられるようにご説明いただきました。

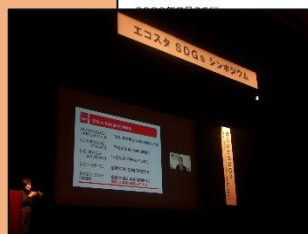


SDGsのゴール1～6(1. 貧困をなくそう～6. 安全な水とトイレを世界中に)については、発展途上国にとっての課題であり、先進国に生きる私たちには縁がないものと思われがちですが、私たちの身近にも、貧困や飢餓、ジェンダーによる不平等などは存在するという事を、国内の事例を用いてお話しいただきました。

特に貧困の問題については、近年のコロナ禍以降、世界規模で深刻化しています。

基調講演では、コロナ禍以降に急増した緊急小口貸付金の利用件数と融資額を参考に、日本国内での貧困問題の深刻化を示し、貧困問題が遠い国のことではなく、私たちの身近に存在することをお話しいただきました。

緊急小口貸付金の利用件数	
2020年3月26日 ～5月9日の1か月半	186,000件(2011年の年額の2.6倍)
	2000億円超え
	約5500億円
	10億円を超える
	100億円余りに
	借額の約2年分



5. 飯塚第二中学校の発表(15:00～15:10)

タイトル 『私の考える国際都市』

登壇者 飯塚市立飯塚第二中学校 2年生 八波 桃香 様
飯塚市立飯塚第二中学校 2年生 鈴木 ひな 様



基調講演の後、飯塚第二中学校2年生の八波さん、鈴木さんによる『私の考える国際都市』についての発表が行われました。

飯塚市がSDGsに取り組み、国際都市となるためにどのような取組を行ったらよいかを考え、ご登壇いただいたお二方からは、断熱材のリサイクルと、リサイクル技術を発展途上国に伝えることで、『国際都市いづく』への第一歩につながることをご提案いただきました。

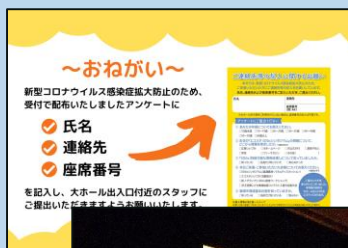


当日は、約100名の市民の方々が来場され、真剣に耳を傾けていました。

6.閉会式(15:10~15:30)

閉会の言葉

閉会の言葉を、飯塚市 市民環境部 環境整備課長 福田より
申し上げました。



本シンポジウムの開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、来場された方々に氏名・連絡先・座席番号を記載していただいた上で、アンケート用紙の回収を行いました。

閉会時には、事業担当課長より改めてアナウンスを行い、アンケート用紙の回収について徹底を行いました。

退場時のようす



退場時には、アンケート回収係の職員を大ホール出口に配置し、回収を徹底しました。



大ホール内には、会場整理係の職員を配置し、間隔を空けてご退場いただくよう誘導しました。

撤収作業風景



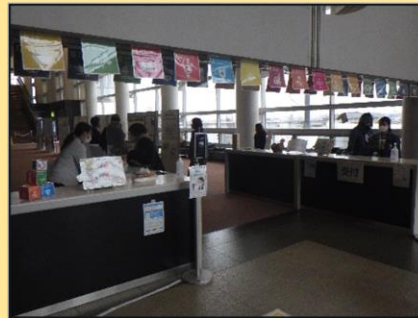
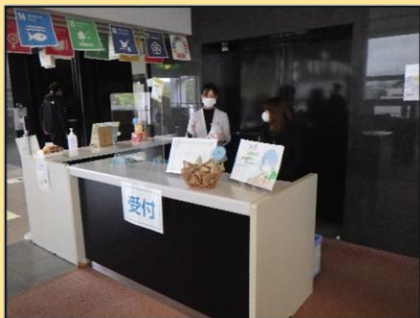
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1. 入場



入場時には検温を実施するとともに、人と人の距離を確保させるための足元マーカを1.5m間隔に設置し、入場時の密集・密接の環境をつくらないように努めました。

2. 受付



受付には、パーテーションを設置し、飛沫防止に努めました。また、手指消毒液を受付や入口等、各箇所に配置し、手指消毒の協力について呼びかけを行いました。

3. 大ホール



ホール内の座席では、使用不可の席に不織布をかけ、人との距離の確保に努めるとともに、間隔を空けて席を利用していただくよう、来場者へ呼びかけを行いました。

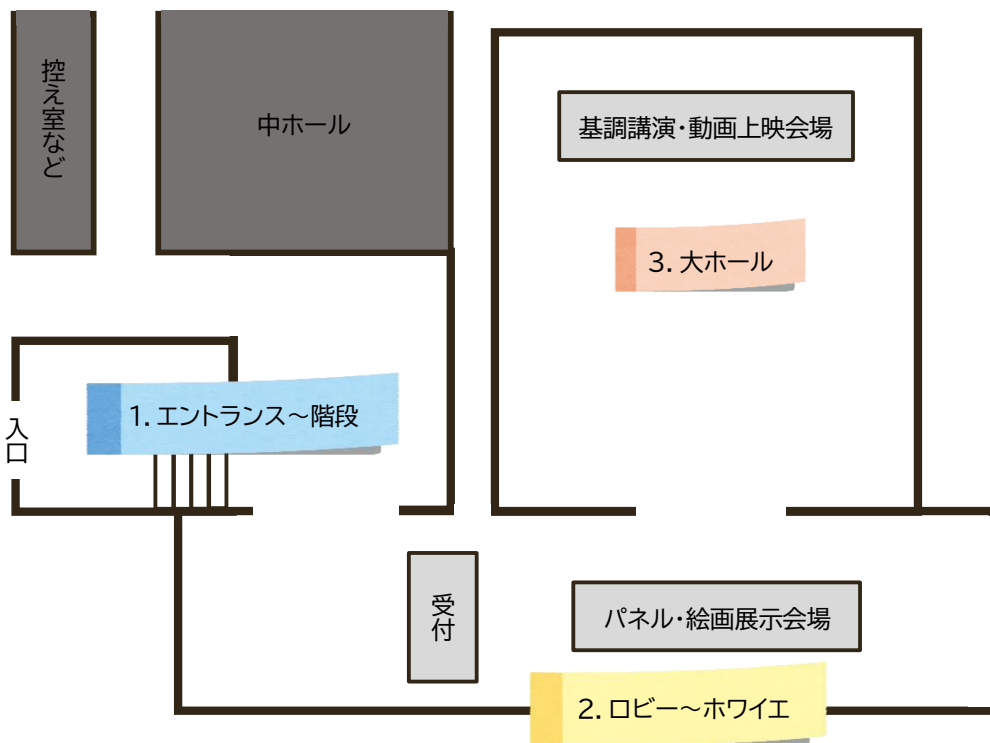
4. 出口通路



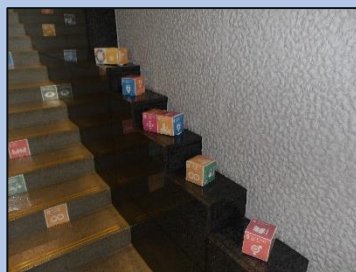
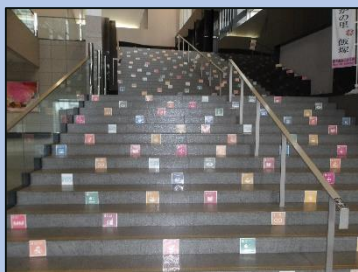
感染拡大防止のため配布した、来場者の把握を兼ねたアンケート用紙は、シンポジウム閉会後の回収だけでなく、途中退出者の回収も徹底するため、出口通路に回収箱を設置しました。

会場図

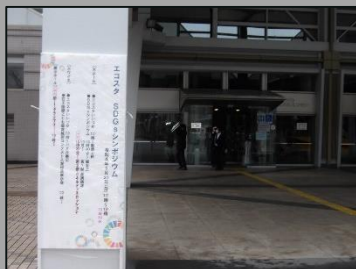
会場概要図



1. エントランス～階段



会場のイツカコスモスコモンに入って、正面に位置する階段には、一段一段にSDGsの17のゴールを貼ってデコレーションを行いました。



開催当日はあいにくのお天気でしたが、会場屋外にはのぼり旗と立て看板を設置していました。



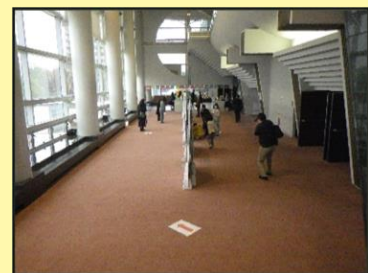
2. ロビー～ホワイエ



正面ロビー～受付には、職員が段ボールで自作した17のゴールにちなんだデコレーションを配置し、会場に彩りを加えました。



受付では検温器、パーテーション及び手指消毒液の設置のほか、密集・密接を防ぐため、受付窓口を2か所に設置するなど、感染防止対策に努めました。また、穂波西中学校が緑のカーテンを設置するために育てた朝顔の種を収穫し、古紙を使用して包装した朝顔の種を無料で配布しました。



ホワイエでは、大ホール側にエコスタいいづかのパネル展示を行い、窓側に花王国際こども環境絵画の展示を行いました。

3. 大ホール



大ホールでは、感染防止対策のために使用不可としている客席を利用し、色鮮やかな不織布で装飾を行い、ホール内を賑やかさせました。また、ステージ上では、スクリーンを用いて、エコスタいいづかの動画上映、横山様による基調講演及び飯塚第二中学校の発表が行われました。



**エコ
スタ** SDGs
シンポジウム

作成 飯塚市 市民環境部 環境整備課